

## 「生徒指導部会」の取り組み

神原中：◎村吉 政彦・眞喜志和人  
 平田 優・比嘉朝海・平良鷹之  
 神原小：○石川ひとみ・山本美鈴  
 永山 葵・宮野俊介  
 壺屋小：○下地律子・知花秋乃・高宮周子

### 1 取り組みの趣旨

- (1) 異校種間の情報交換を密にし、不登校児童生徒、問題傾向のある児童生徒に対する指導の強化を図る。
- (2) 「社会性を育てる」指導の一環として、ルールやマナーを守り、小中で連携して基本的な生活習慣の確立に努める。
- (3) 義務教育9年間を1つのスパンと捉え、生徒指導面から小学校と中学校の共通実践事項を確認し、円滑な接続を図る。

### 2 取り組み内容及び実践報告

#### (1) 小中情報交換会の実施

##### ①趣旨

年3回の小中情報交換会を実施し、不登校児童生徒、問題傾向のある児童生徒の現状と情報共有を行い、中1ギャップの解消と指導の深化を図る。



##### ②方法

小学校教諭による中学1年生の授業参観後に情報交換を実施する。

##### ③参加者

6年担任（転任の場合教務等）、現中学1年担任、小中の養護教諭、特別支援担当教諭等。

#### (2) 小中合同「あいさつ運動」の実施

##### ①趣旨

小中合同であいさつ運動を実施することにより、児童生徒相互の人間関係づくりと連帯意識の高揚、和のある学校生活づくりの推進を図る。



##### ②方法

神原中正門，神原小正門，壺屋小正門。（2学期は裏門もあわせて実施）

##### ③参加者

生徒指導部員（教

諭）、生徒会・児童会委員、生活委員及びその他の委員会。

#### (3) 「学習規律」「みそあじ」の共通実践

##### ①趣旨

9年間を1つのスパンと捉え、前・中・後期を通して小中が連携して「学習規律」と「みそあじ」の徹底に努め、全教諭で授業に真剣に取り組む態度と生活規律の定着を図る。

##### ②方法

「学習規律」→**正座の仕方**、**授業始終のあいさつ**、**発表の仕方**、**聞く態度**、**学習のまとめ**について小中で連携して取り組む。

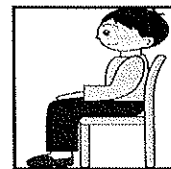
「みそあじ」→**身なり・服装**、**清掃活動**、**あいさつ**、**時間のけじめ**について、小中で連携して取り組む。

##### ③対象

小中全学年の児童生徒、小中学校教諭。

#### 【学習規律の取組内容（後期の例）】

#### 1. 正座の仕方



正座の仕方

- ①手はひざの上に置く。
- ②背すじをのばし、背もたれにもたれない。
- ③足はそろえて、地面にきちんとつける。
- ④顔は先生を見る。

#### 2. はじめのあいさつ 日直の号令

「起立！」※机にイスを入れ、後方に立つ。

「気をつけ！」「はい！」「礼！」

「よろしくお願ひします」と言い終わった後に「礼」をする。

※教諭は全員言い終わった後に礼をする。

※本時の目標を明記しておく

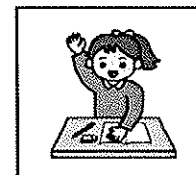
#### 3. 発表の仕方

○聞こえるようにしっかりと返事をする

※手を上げて「はい！」と返事をする

○発表は「私の意見は～です」「なぜな～だからです」と文章にして発表する

※教諭の発問は短くわかりやすくする



○返事の小さい児童生徒にはそれを指導するとともに、「次は張ろうね」という励ましの声かけをする

#### 4. 「聞くこと」の約束

○先生や発表する人が話し終わるまで声や音は出さない。



(おしゃべり厳禁)  
○話しをしている人に気を配って聞く  
○相手の話に集中して、要点を掴みながら聞く。

#### 5. 学習のまとめ

○本時の目標の再確認と、自己の達成状況の確認を行う。

#### 6. おわりのあいさつ

- 日直の号令 「起立！」
- 作業をやめ、イスを机にしまい、イスの後ろに立つ。
- 「気をつけ」 「礼！」
- 「ありがとうございました」と言い終わった後に「礼」をする。  
※教諭は全員が言い終わった後に礼をする。

#### 「みそあじ」の徹底

みなりを整えよう！

そうじを徹底しよう！

あいさつをしよう！

じかんを守ろう！

「みそあじ」については左記のように掲示物を作成し、小中で連携して取り組んだ。特に「身なり」については小学校は私服であるため、以下の項目で指導を行った。

①ピアス、リストバンド、エクステなどの装飾品②眉ソリ③髪染めを指導内容とし、その他の清掃活動、あいさつ、時間のけじめについては、小中で統一した指導を行った。

### 3 成果と課題

#### (1) 小中情報交換会

##### ①成果

小中情報交換会において、不登校や問題傾向のある児童生徒の現状把握及び指導の手立てを共通確認することにより、

継続指導の重要性と小中教職員の連携意識の高揚及び指導の深化を図ることができた。

##### ②課題

小中情報交換会は、年3回の実施となっており、負担感があるとの意見や小学校が具体的に指導していく内容について、時間をかけた話し合いをもって欲しいとの意見もあった。さらに小学校教職員による中学校への授業参観についても、参観時間の調整等を検討しながら取り組む必要がある。

##### ③次年度に向けての対応策・改善策

次年度は、小中情報交換会の開催時期や実施回数及び情報交換の内容について検討をし、改善を図りながら取り組んでいきたい。

#### (2) 小中合同あいさつ運動

##### ①成果

あいさつ運動に関するアンケートにおいて、「中学生とあいさつ運動をするのが楽しい」「小学生が妹や弟みたいに可愛く感じる」「互いに近くなった気がする」「これからも続けて欲しい」等の意見があり、児童生徒、教諭の連携意識の高揚及び好ましい人間関係の構築につながったと考える。

##### ②課題

「あいさつをしてくれない児童生徒がいる」「あいさつがしっかりできていない」などの意見もあり、特別活動や道徳等を通して、あいさつの意義を理解させる取り組みが必要であると考えた。また、「小学校と中学校の登校時間帯の違い」や「隣接していない小学校への中学生の参加」については、開始時間を早めて実施するなどの方法についても今後検討する必要がある。

##### ③次年度に向けての対応策・改善策

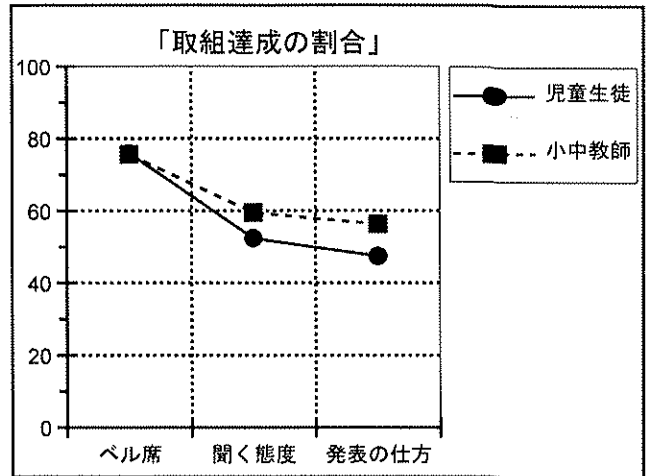
次年度は、あいさつ運動をより活性化するためにも、課題を改善し、PTAや地域と連携した取り組みを実施していきたい。

(3) 「学習規律」「みそあじ」に関する意識調査の実施

【学習規律意識調査】

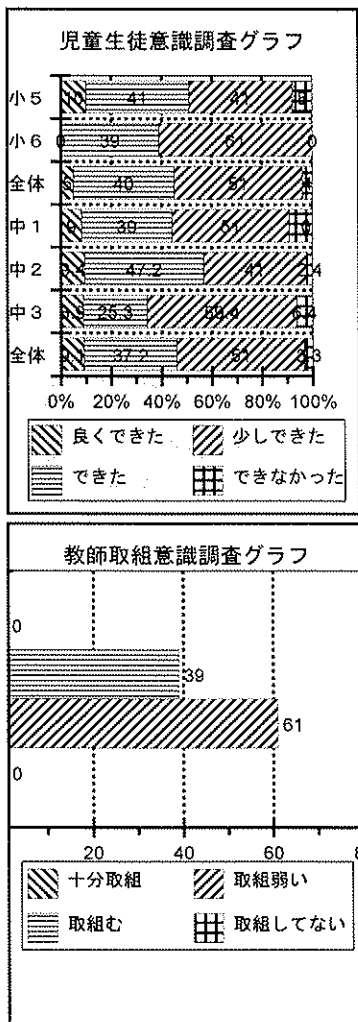
【児童生徒の意識調査項目（抜粋）】

「学習規律」「みそあじ」児童アンケート（小学校）				
実践事項	できなかった	少しできた	できた	よくできた
① 授業中の聞く態度について	おしゃべりが多い、集中できていない	時々おしゃべりがある、集中している	おしゃべりをしていない、集中している	おしゃべりをしていない、集中している
② 発表の仕方について	緊張して話せなかった、声が小さい	緊張はするが話せた、声は普通	緊張はしない、話せた、声は普通	緊張はしない、話せた、声は大きい



生徒指導部会では「学習規律」に関する意識調査として、①ベル席 ②授業中の聞く態度 ③授業での発表の仕方について、また「み・そ・あ・じ」に関する内容として、①身なり・服装②清掃活動③あいさつ④時間のけじめの計7項目について調査を実施するとともに、その結果を児童生徒、教諭に分けてグラフ化し、検証した。

【意識調査の一例（発表の仕方）】



①学習規律における成果

「ベル席」についての取組達成の割合が教諭、児童生徒ともに約80%と高く（前期意識調査よりも数値が上昇）、この結果から、小中ともに意識的に取組が行われ、「ベル席」指導が定着しつつあると考える。

②学習規律における課題

ア 「発表の仕方」については、上記のグラフからもわかるように、教諭、児童生徒が同じように落ち込んでいるのが特徴である。数値が伸び悩んでいる要因として、授業内容によって発表の仕方（させ方）の方法が異なり、統一が難しいとの意見が多かった。

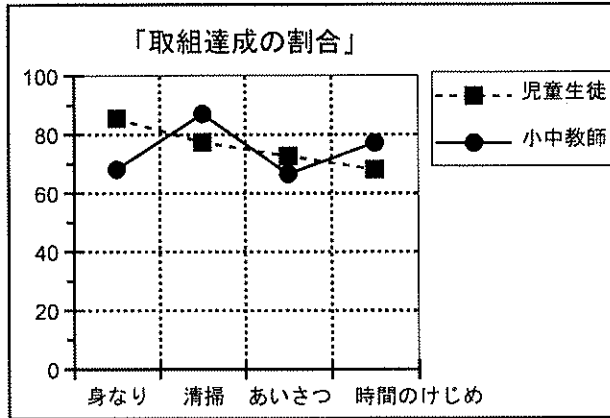
イ 「聞く態度」においても同じく落ち込んでおり、児童生徒のアンケートの回答から、「おしゃべりをしていることがある」、「しゃべりかけられて集中できない」、「授業がわからない」などの意見があり、授業に集中して取り組ませる指導の工夫が必要である。

③学習規律における次年度に向けての対応策・改善策

ア 教科の特性や授業の進め方等に応じた「発表の仕方」について検討し、共通理解を図りながら小中で統一した取り組みを行っていききたい。

イ 「聞く態度」においては、学習規律の意義を全教諭で再確認するとともに、けじめのある学習活動の構築を図っていききたい。

【「み・そ・あ・じ」の意識調査】



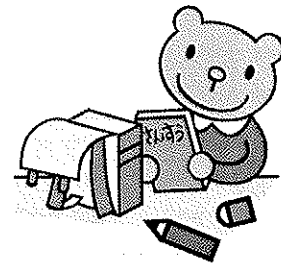
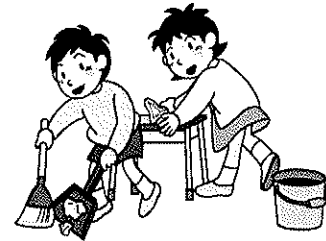
① 「み・そ・あ・じ」における成果

「清掃」については、教諭、児童生徒共に取組達成率が約8割～9割、その他の項目においても平均7割以上の達成率となっており、小中共に、取り組みに対する意識の高揚を図ることができたと考ええる。

② 「み・そ・あ・じ」における課題

意識調査のグラフから、「身なり」、「あいさつ」に関しては教諭の取組達成の割合が低く、児童生徒の割合が高くなる結果となった。前期調査と比較しても、児童生徒の取組達成率が平均8割と高い値を維持しており、教諭も「十分取り組んだ」の数値が向上していることがわかった。このことから、教諭は指導がまだ十分でないと考えている一方で、児童生徒には、教諭の期待以上に規範意識が身についてきているのではないかと考える。

しかし、「時間のけじめ」については、「聞く態度」と関連して、集中して授業や各係活動に取り組む態度を身につけていけるよう、継続指導が必要である。



4 まとめ

- (1) 「小中情報交換」によるきめ細やかな指導及び「あいさつ運動」による、児童生徒のより良い関係作りにより、中学校1年生の不登校生徒が平成23年度は1名、平成24年度は7名から2名に減少（－5名）、平成25年度は2名から現在0名（－2名）という結果となっており、これらの取り組みは、中1ギャップの解消につながっていると考えられる。
- (2) 「学習規律」「みそあじ」の実施により、各取り組みで達成率が平均7割～8割となっており、児童生徒、教諭が共に意識した取り組みをおこなっている状況が明らかに

なった。課題は、「時間のけじめ」「発表の仕方」「授業中の聞く態度」については、検証を進めながら指導の深化を図っていく必要があると考える。